



進路だより 11号
2017年4月18日(火)
発行：県立糸満高等学校
進路指導部

平成29年度「おきなわ国際協力人材育成事業」
国際協力レポーター事業 参加者募集要項

1. 事業の目的

本事業は、沖縄県内の高校生を開発途上国へ派遣し、我が国の政府開発援助（ODA）実施機関、青年海外協力隊、NGO等が行う国際協力活動現場等の視察や現地の人々と交流を行うことにより、本県の「国際交流と国際協力活動を担う次世代の人材」を育成するとともに、あわせて、県内で国際協力の意義や現状等を学ぶ機会を提供することで、本県若者の国際感覚、グローバルな視点といったものを涵養するための事業である。

2. 派遣国・テーマ

以下の3ヶ国に、1方面13名の計39名の高校生を派遣します。

派遣に際しては、各国の視察テーマ関連の活動を含む団体を中心に視察します。

- ① ラオス人民民主主義共和国 (テーマ：保健医療・国際協力)
- ② カンボジア王国 (テーマ：平和構築・国際協力)
- ③ モンゴル国 (テーマ：社会保障・国際協力)

3. 派遣時期・期間

平成29年7月下旬～8月下旬(夏休み期間中)の11日間程度

4. プログラム内容(予定)

	主なプログラム(予定)
事前研修	参加者同士のコミュニケーションを図るとともに、国際協力の基礎や各派遣国の歴史・文化について学習し、派遣国で沖縄県の歴史、文化を紹介できるように、事前研修を2回実施する。
派遣中	(ア) JICA青年海外協力隊や国際協力団体(NGO等)が実施する技術協力の現場やボランティア活動現場の視察 (イ) 日本大使館、国連機関、派遣国の政府機関等への表敬・視察 (ロ) 現地家庭でのホームステイ(1～2泊程度) (ハ) 現地の若者(学生達)との交流 (ニ) 派遣国で活躍している日系企業(沖縄県系企業)の訪問 (ホ) 派遣国で活躍する日本人(沖縄県出身者)との交流 (ヘ) その他、国際協力・貢献に資する視察及び交流
事後研修	派遣国での体験、交流を通じた内容を振り返るとともに、出身校での成果報告や、将来に向けた取組・活動ができるよう、事後研修を2回実施する。
成果報告会	海外派遣で得た成果を国際協力レポーターとして発表するため、県内の学生や、学校関係者等を招待し、成果報告会を開催する。

- ※ 上記プログラムは、現時点でのプログラム案であり、今後、変更することがあります。
- ※ プログラム中はグループ行動を行い、ファシリテーター、ロジコーディネーター、看護師が沖縄から同行します。また、現地では通訳を配置します。
- ※ 現地での宿泊は、ホームステイを除いて原則ホテルとし、数名での相部屋となります。

4. 募集対象・人数

沖縄県内の高校に在学する高校生39名。(派遣1ヶ国につき13名)
※ 参加者の派遣国については、県が決定し最終合格者に通知します。

5. 応募要件

- ① 国際協力・貢献活動に興味を持つ者
- ② 海外での約11日間のプログラムに耐える体力と精神力を持つ者
- ③ 海外の人々と積極的にコミュニケーションを取り交流する意欲のある者
(海外でのプログラムには通訳が随行するため、高度な英語力は必要としません)
- ④ 他人の価値観を尊重し、集団生活が可能な者
- ⑤ 何事にも目標を持って行動し、広い視野を持って前向きに取り組む者
- ⑥ 事前研修から成果報告会までのすべてのプログラムに参加できる者
- ⑦ 国際協力レポーターとして海外派遣の成果を身近な人々に伝えていく意思のある者

6. 応募方法等

(1) 応募書類

- ① 推薦書
- ② 参加者申込書
- ③ 作文

A4用紙に800字程度、原稿用紙に手書き or パソコンによる作成も可。
『課題：沖縄県の特性を活かした国際貢献について』

参加申込書と作文を
4月24日(月)までに提出
してもらいます。

興味のある生徒、詳細をききたい生徒、または申込みを希望する生徒は
進路指導室、中島まで。

問合せ、校内申込み〆切：4月20日(木)

沖縄県の交際交流事業

今回の「国際協力レポーター」のような事業を
今後も沖縄県は企画しています。

他にも世界のウチナンチュとの県内合宿や海外
県人会にホームステイなど。

クラスにパンフレットを置いておくので、興味
がある生徒は目を通しておいください。

